

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和6年度）

基本方針	1.未来に輝く人づくり
基本施策	1-1.結婚・出産・子育ての希望を叶える
関連するプロジェクト	1.子育て寄り添いプロジェクト

子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるため、結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目ないライフサポートの充実と、乳幼児期の子どもの成長に寄り添う子育て支援の充実を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

R6事後
1

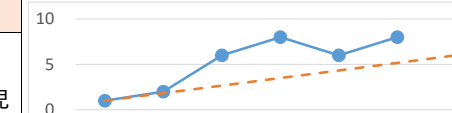
※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)		成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)		達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	福祉部/健康こども部	●	子育て世帯の経済的負担の軽減	(福祉部) 医療費助成について、拡大の効果を検証するとともに、必要に応じて支援のあり方について検討していく。	①	指標に基づく事実	①子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。	A	指標に関する内容		指標に関する内容	物価高騰が続き経済的負担の軽減策の効果が相対的に薄くなったと考えられる。	(福祉部) ◇継続して福祉医療費給付制度を実施していくとともに、子ども医療費助成について国に対して全国一律の制度創設を求めていく。 ◆国、県、県内他市町村の動向を注視しつつ支援のあり方を検討していく。
				(健康こども部) 副食費については、現状の独自軽減を引き続き実施していくほか、出産や育児へのサポートを充実させ、子育て家庭への経済的負担の軽減を図っていく。	指標以外の事実		(福祉部) 延べ件数で、子ども167,328件(295,136千円)、ひとり親家庭15,084件(36,148千円)の医療費給付を行ったことにより、子育て家庭への経済的負担軽減を図った。 (健康こども部) ・多子世帯給付金を770人分支給した。 ・第2子以降の保育料無償化、第1子保育料の半額を実施した。		指標以外の内容	(福祉部) ・18歳までの子どもの医療費について、R5年12月から所得制限を撤廃したため、給付が増加している。 令和5年度 115,229件(224,963千円) (健康こども部) ・給付金の支給及び保育料や副食費の軽減により、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。	指標以外の内容	(福祉部) ・医療費給付制度は、自治体毎に給付対象者の範囲や給付内容が異なり、自治体間の競争が起きている。	
2	健康こども部	●	子どもを希望する夫婦の経済的負担の軽減	経済的な理由により、子どもを希望する夫婦が妊娠をあきらめず治療を継続できるよう、引き続き、特定及び一般不妊治療費の一部助成により経済的負担の軽減を行う。	①②	指標に基づく事実	①子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。 ②妊娠届者のうち、不妊治療をした人の割合は増加しており、期待値を上回っている。なお、一般不妊治療申請者はR5年度41件、R6年度56件。特定不妊治療申請者はR5年度90件、R6年度は101件。一般、特定ともに増加の申請件数となっている。	A	指標に関する内容	産婦人科医療機関へチラシを配布し、周知していることが、有効に作用している。	指標に関する内容	不妊治療費の保険適用がされたことにより、市民が不妊治療に取り組む意識が高まった。	◇継続して事業を実施。
					指標以外の事実				指標以外の内容		指標以外の内容		
3	健康こども部	●	産後ケア事業の充実	妊娠期から子育て期にわたり、母親及びその子どもに対し個別にケアや指導を行い、身体的な回復や心理的な安定につながるよう、民間団体が運営する産後ケアセンターや宿泊施設を利用したデイサービス型及び家庭を訪問して行う訪問型産後ケア事業を実施する。また、こども家庭センターと関係機関が連携し、切れ目ない支援を行う。	①③④⑤	指標に基づく事実	①子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。 ③産後退院してから1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けことができた人の割合は横ばいで、期待値と同等になっている。 ④この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合はすでにR7期待値を超えている。 ⑤ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があった人の割合は上昇したが、期待値は下回っている。	A	指標に関する内容	③妊娠届、出生届等で新生児訪問、産後ケア等について継続して周知するとともに、産婦の希望や意見を取り入れながら支援を行ったことによる。 ⑤産後ケアの利用、こども家庭センターの保健師や助産師の訪問相談支援により、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があった人の増加につながった。	指標に関する内容		◇6月～宿泊施設での産後ケア事業のデイサービス型を実施
					指標以外の事実		民間団体と協力しながら妊娠期からの切れ目ない支援を行っている。		指標以外の内容	民間団体との情報交換会を年3回設定し情報交換することで、支援が必要な人に対する継続した支援に繋がっている。	指標以外の内容		


No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)		成果指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	健康こども部	●	産前・産後サポート事業の充実	○産前・産後サポート事業の充実 妊娠期から出産後において、安心して育児に臨めるよう育児講座や母親同士の情報共有の場をつくる。また、関係機関と連携して、利用者ニーズの把握と事業効果の検証をしつつ、支援の場を充実させていく。 ○妊娠期の費用負担の軽減 ハイリスク妊産婦に対し、通院や待機宿泊にかかる費用について、経済的不安の軽減を図るため、助成を実施する。	①	指標に基づく事実	子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。	A	指標に関する内容		指標に関する内容		◇産前・産後サポート事業は継続して事業を実施 ◇4月～ハイリスク妊婦に対する交通費助成支援を開始
						指標以外の事実	産前・産後サポート事業は民間団体へ業務委託し、R6年度は年15回275人参加している。		指標以外の内容	・産前・産後サポート事業に関しては関係機関と連携し、事業の充実に努めている。 ・開催回数の増加、育児で多い悩みや参加者が希望するテーマの設定をするなどし、相談しやすい環境を提供した。	指標以外の内容		
5	健康こども部	●	保育所等利用定員数の適正化と保育人材の確保	令和7年度に策定する北上市こども計画(第3期北上市子ども・子育て支援事業計画)に基づき、公立施設の利用定員を削減するなど、保育サービスの需給均衡に向けて調整を行う。また、保育士の定着に向け、引き続き奨学金返還金への助成等を行っていく。	①⑥	指標に基づく事実	①子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。 ⑥奨学金返還金補助の交付決定数は56件であり、期待値よりも高水準の実績となっている。	A	指標に関する内容	制度について市HPにて案内するほか、各園を通じた制度の周知が図られ、新規就労者の交付申請につながっている。	指標に関する内容	各園を通じた制度の周知が図られ、新規就労者の交付申請につながっている。	◇奨学金返還補助について、交付決定数が増加していることから、保育士の確保・定着に寄与していると考えられるため、実施を継続する。 ◆R8年度において補助対象者を対象にしたアンケート調査等を通じた奨学金返還補助の効果検証を行うことを予定している。
						指標以外の事実	保育需要に合わせ公立園の募集人数の調整を行った。		指標以外の内容	大通り保育園の募集人数を10人削減した。	指標以外の内容	駅前に新たな認定こども園が新設されるなど、市街地エリアにおいて保育サービスの供給が増加した。	
6	健康こども部		多様な保育ニーズへの対応	社会情勢の変化等を見極めながら、多様な保育ニーズに対応した各種保育事業を継続すると共に、拡充を図っていく。	①⑦	指標に基づく事実	①子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。 ⑦乳幼児の一時預かり事業の実施施設が8か所に増加し、受け皿が充足している。	A	指標に関する内容	①多様な保育ニーズには様々な施策により対応しており、指標を低下させている大きな要因ではないと考える。 ⑦R3年度から保健・子育て支援複合施設ほKko内に設置している一般型の一時保育室は、周知の結果もあり利用者が増加し、十分に活用されている。	指標に関する内容	新設認定こども園の一般型一時保育が新たに開始したため、利用者が増加した。	◇一時預かり事業、延長保育、病後児保育事業等を継続するとともに、こども計画策定にあたり実施しているニーズ調査の結果も踏まえながら、多様な保育ニーズへの対応を検討していく。 ◆こども誰でも通園制度など新たな取組を進める。
						指標以外の事実	多様な保育ニーズに対応するため延長保育、病後児保育事業等を実施した。 延長保育は22園で実施、病後児保育は2箇所を実施、体調不良児保育も2か所で実施している。		指標以外の内容	保育所等での実施のほか、令和3年度から病後児保育室を北上済生会病院に委託して実施している。また、一時保育を利用した低所得世帯への利用料軽減給付金をR6から開始した。	指標以外の内容		

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)		成果指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
7	健康こども部		学童保育所の環境整備	老朽化した学童保育所の計画的な整備と指定管理制度の対象施設の拡大を進める。	①⑧	指標に基づく事実	①子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。 ⑧学童保育所の計画的な整備と指定管理者制度の対象数の拡大を図り、期待値どおり整備している。	A	指標に関する内容	・指定管理者制度への移行を計画的に行い、現在対応可能なところは全て移行した。 ・クーラー設置、トイレ増設の洋式化を推進し、児童が利用しやすい環境を整備している。 ・黒沢尻東学童保育所の整備を行った。 ・江釣子小学区の利用者増に伴い、施設の増設に向け補助を行った。	指標に関する内容		◇学童保育所の計画的な整備及び、整備後の指定管理者制度への移行を継続して進める。 ◇鬼柳学童保育所の建て替え用地の検討を行う。 ◇各学童保育所の老朽化設備の修繕・更新を進める。 ◆鬼柳学童保育所についてR9年度の建て替え、指定管理者制度への移行をめざす。
						指標以外の事実	学童保育の利用を希望する家庭が全て、学童保育所を利用できている。	(A)	指標以外の内容	・年2回、市の共催で研修会を行い、職員の資質向上に努め、受入れ体制を整えている。 ・低所得者やひとり親家庭に対する利用者負担の軽減を図り、経済的な面でも利用しやすい環境を整備している。	指標以外の内容		
8	健康こども部	●	結婚を望む人への支援	結婚を望んでいる人が、経済的理由を乗り越えて結婚に踏み切ることができるよう、結婚新生活に係る費用の一部を補助する。	⑨	指標に基づく事実	婚姻を機に住宅の取得や賃貸住宅への転居等を行った双方とも39歳以下の新婚世帯について新生活にかかる費用を補助する「北上市結婚新生活支援補助金」について、当初の想定である10組を超える16組の申請があった。(認定申請を除く)	A	指標に関する内容	・市HPへの掲載だけでなく、セレモニーホールや不動産業者にチラシ設置を依頼したことから、制度の周知が進んだ。	指標に関する内容		◇継続して事業を実施
						指標以外の事実	結婚サポートセンター「i-サポ」の運営費を負担し、結婚を望む若者への出会いの場創出事業が実施されている。	(一)新	指標以外の内容		指標以外の内容		
9	健康こども部	●	こども施策の総合的かつ強力な実施	令和5年4月に施行されたこども基本法の基本理念に則り、同法第10条に定める市町村こども計画として「北上市こども計画」を策定し、こども施策に関して国及び県との連携を図るとともに、当市の各部署のこども関連施策に横串を刺し、一体的な取り組みを進めていく。	①	指標に基づく事実	子育て環境の充実度(市民意識調査)は、期待値に届いていない。	B	指標に関する内容		指標に関する内容	市民意識調査の自由記載欄では、こどもの遊び場、子育て世帯への経済的支援などを求めるものが見られた。	◇こども計画を9月に策定予定 ◆こども計画で設定した重点施策は事業の充実に向け取り組むものとする。 ・こどもの権利の尊重 ・多様な居場所づくり ・孤立を防ぐための子育て世帯へのサポート
						指標以外の事実	こども計画の策定期間をR7年3月から9月に延期した。	(一)新	指標以外の内容	・調査結果の分析に時間を要したこと、また、市としての骨子の検討を策定工程に追加したこと、当初想定よりも策定期間を要した。	指標以外の内容		

指 標 ①		指標の説明									
北上市市民意識調査 子育て環境の充実度 (子育て環境は充実して いて安心して育児が できるとする率)		全回答者(無回答者を除く)のうち「そ う思う」「ややそう思う」「普通」と回答し た者の割合									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
福祉部/健康こ ども部	%	実績値	64.1	68.1		69.1	58.9	58.7			
		期待値 ※R7は目標値	64.1	64.3	64.4	64.6	64.7	64.9	65.0		
		備 考			未実施						

指 標 ⑦		指標の説明								
一時保育事業実施施設		保護者の疾病やリフレッシュのため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について年齢制限なしで一時的に預かる事業所の数。								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
健康こども部	箇所	実績値	1	2	6	8	6	8		
		期待値 ※R7は目標値	1.0	1.8	2.7	3.5	4.3	5.2	6	
		備 考								

指 標 ⑬		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備 考							

指 標 ⑧		指標の説明								
子ども・子育て支援事業計画に基づく児童保育所の施設整備数		老朽化が著しい施設や基準を満たしていない施設等の整備を行った施設数								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
健康こども部	箇所	実績値	3	3	4	6	6	8		
		期待値 ※R7は目標値	3	4	4	5	6	6	7	
		備 考								

指 標 ⑭		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備 考							

指 標 ⑨		指標の説明							
結婚新生活支援補助金の交付決定数		補助申請が行われ交付決定された件数							
担当部等	単位		R1 《現状値》	R2	R3	R4	R5	R6 (現状値)	R7
健康こども部	件	実績値						16	
		期待値 ※R7は目標値						16.0	18.0
		備 考						指標新規設定	

指 標 ⑮		指標の説明							
担当部署	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備 考							